

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～19℃台を示し、やや高め～かなり高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の28%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の73%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり107kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり6.4トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり621kgの水揚げ。北松生月地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり34kgの水揚げ。対馬東岸地区では、サワラなどが1日1統当たり129kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり363kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/30～2/4の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島北側及び三陸沖に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖～酒田沖に出漁。

鳥取県西部（沖合船）4日延19隻、総計1,763箱、1航海最高151箱、平均92.8箱。スルメイカ（20～30入）1,747箱、ヤリイカ（入合）16箱の混獲となった。今期は山口沖～隠岐諸島周辺～鳥取県西部沖が主漁場でスルメイカが中心に獲れた。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>